

HCC TIMES



Vol.232 2022 10



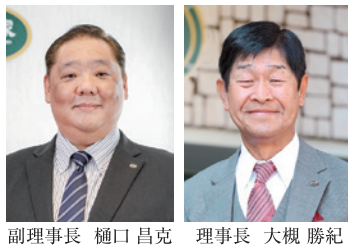
豊泉家グループ 一般財団法人 SF 豊泉家
〒561-0881 大阪府豊中市中桜塚 3-2-1
TEL:0120-294-998
https://www.housenka.com/
編集: 広報戦略室 / 編集長 石倉慎也
2022.10.1発行

医療法人成和会

「2022年度の取り組みと経営方針」

医療法人成和会は、2011年6月に継承いたしました医療法人の名称を2012年4月1日より「医療法人成和会」に、また病院名を「ほうせんか病院」に変更し、2022年4月をもちまして創立10周年を迎えることができました。これらひとえに苦業を共にしていただいた法人（成和会）「フェロー」並びに豊泉家グループ「フェロー」の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。また、地域における医療機関との連携や病診連携、病院と介護施設との連携に加え、近隣地域の皆様にも支えていただき、改めて多くの方々にご支援とご協力をいただけてきたことを実感しております。

我が国において、病院の病床は新規にて1床も増やすことはできません。現在の「ほうせんか病院」並びに「北大阪ほうせんか病院」を合わせた500床におきましても、すべて事業譲渡による病床確保となっております。この短い10年という期間の中で、500床の病院を経営・運営する法人となり、組織や風土の違う「フェロー」が集まり、「医療法人成和会」ほうせんか（豊泉家）としてついにいくことの難しさを感ずる10年でした。



副理事長 樋口 昌克 理事長 大槻 勝紀

しかし、現状の病院は、豊泉家グループが2030年に掲げているビジョンの通過点であり、「生命を守り、生活を愉しみ、人生を豊かにする」というミッションの下、サービスの充実を図りつつ500床の新たな病床確保に向けても進んでまいります。また、2021年2月より「立ち向かう使命感と挑戦する勇氣」を、COVID-19コンプレックスを実践いたしました。ワクチン接種（茨木市集団接種、地域の方々に対する職域接種など）、PCR検査事業、発熱外来、後遺症外来、大学や企業との共同研究、そして治療では、北大阪ほうせんか病院本館145床を活用し「ほうせんか新型コロナウイルス感染症病棟（COVID-19 UNIT）」を大阪府下の民間病院で最大規模となる60床を開設し、第4波から現在の第7波まで、多くの患者様を受入れ治療に取り組んでまいりました。この1年半で大阪府、また保健所などの行政機関をはじめ、多くの医療機関と強固な信頼関係を築く事ができました。その結果、大阪府から相談を受け、全国で初となる「病院一体運営型宿泊療養

施設（コロナホテル）106床を整備し、第7波では要介護高齢者を中心として陽性と介護の機能とリハビリテーションを併せもつ、「大阪コロナ高年齢者医療介護臨時センター」ほうせんか（コロナセンター）40床を大阪府と共に開設し、第7波を迎え撃つ体制を整備することができ、真に治療を必要とされる患者様に入院していただくことができました。

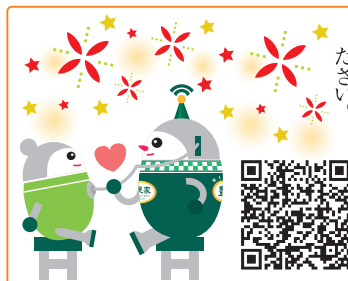
そして、フェローがやりがいを持つて業務に取り組みし、患者様が安心して医療を受けられることができること。そして法人の継続経営、適正な利益を出し続けるために計画経営を実践すること。その結果エッセシャルワーカーとしてフェローが丸となり、地域社会に貢献できる法人を目指します。2022年度医療法人成和会は、新型コロナウイルス感染症に関連する事業が目立ちますが、既存事業である南館コミュニティ、西館コミュニティ、コメディカル本部が取り組むべき経営方針につきましても、アフターコロナを見据え、愚直に、地道に、徹底的にやり続けることが重要で、法人の節目である10周年を迎え、新たな10年を皆様と共に創り上げてまいります。今後もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。2022（令和4）年10月

和なり」という想いの下、人材の採用と教育に力を入れ、スベシヤリストの育成に留まらず、ジェネラリスト人材の育成についても取り組みます。そして、2026年4月の北大阪ほうせんか病院新築建築替え計画に向け、残すところ4年となり、すでに一部の造成工事が進んでおります。未来を見据えて何を行い、何を断るのかを明確にし、決断をまいります。社会情勢が目まぐるしく変化化する中、これまでの常識や枠組みに捉われない経営を実践し、医療業界に新たなイノベーションを起こせるよう勇気ある挑戦に取り組みしてまいります。南館コミュニティ、西館コミュニティ、コメディカル本部の方針については、下記にて、具体的に説明させていただきます。

◆西館コミュニティ
経営システムのつであるチーム経営を改めてスタートいたしました。チームとして、キワミローズ（西1病棟・50床、西3病棟・35床の回復期）、ミックスローズ（西2病棟・50床の地域包括）、ホットローズ（外来、内視鏡、手術）の3チームで構成し再開いたします。

◆南館コミュニティ
緩和ケア病棟の再構築が急務であり重点課題です。チーム役職者が一新することになり、改めて緩和ケアの経験の有する医師、認定看護師の育成と採用を含めた体制づくりと病棟連携に頼らず患者確保に留まらず、緩和ケア外来や在宅診療体制の構築などを通じ、稼働率100%を目指します。

◆コメディカル本部
診療本部、看護本部と共に患者様をサポートする本部として、放射線科、臨床検査科、リハビリテーション科、薬剤科の4チームに加え、7月より健診科を構成し5チームにてコメディカル本部を組織し、今後のタスクシフトを見据え、それぞれの専門職の活躍の場を拡げたいと考えております。



医療法人成和会についてはこちらをご覧ください。



また、新予防として新たな予防事業をコメディカル本部が「丸」となり、「早期発見」「指導教育」「治療支援」「再発防止」「研究開発」など複合的なサービスとして構築してまいります。

◆西館コミュニティ
また、外来・内視鏡・手術がしつかりとした適正な利益を生み出す経営システムと運営システムの構築が重要であり、継続経営と未来への投資ができるよう、コメディカル本部とも共同し実践してまいります。

◆南館コミュニティ
きましてもご家族の面会の機会を無くすることなく取り組んでまいります。また、慢性期医療として療養病床（一般障がい者等病棟）を継続してまいります。今までの診療報酬改定では、これまで医療区分3で算定できていた患者様が算定できなくなる事が予想されます。より医療必要度の高い患者様に対し、求められる医療、看護サービスを提供できる様、取り組んでまいります。

◆コメディカル本部
また、新予防として新たな予防事業をコメディカル本部が「丸」となり、「早期発見」「指導教育」「治療支援」「再発防止」「研究開発」など複合的なサービスとして構築してまいります。

また、新予防として新たな予防事業をコメディカル本部が「丸」となり、「早期発見」「指導教育」「治療支援」「再発防止」「研究開発」など複合的なサービスとして構築してまいります。

医療法人成和会の紹介

HCC 芦屋山手
ハワイアンフェスティバル

8月13日(土) 芦屋コミュニティ1階バインホールにて、特別エンターテインメント「バインホールコンサート」を開催いたしました。

当日は、スペシャルゲストとして、元タカラジェンヌの「彩ひろみ」様、元宝塚歌劇団オーケストラの一員でもあり「す」佐伯 準二様をお呼びして、1日限りの特別コンサートをお楽しみいただきました。ホール中に響き渡る演奏の中、とても優雅な時間をお過ごしいただきました。

ご参加いただいた皆様の中には、宝塚歌劇団のファンの方も沢山いらつしやう、「生で演奏を聴けて本当に嬉しい！」と沢山のお喜びの声をいただきました。

最後は演者様にもお見送りいただき、最初から最後までコンサート会場さながらの演出で楽しんでいただけたと思います。

記者：原 慶彦



HCC チャレンジド
オリジナルサシエ作り

8月30日(火) 芦屋コミュニティ1階バインホールにて、イベント「ハワイアンフェスティバル」を開催いたしました。今回のテーマは、ホカンス(ホテルパカンス)とハワイ!

イベント当日は、豊泉家コミュニティクラブのフェローがアロハシャツでお出迎え。ハワイアンネイルやヘルスケアマネジャーによるハワイアンエイジジストレーニング、おやつには特製パンケーキ、夕食にはハワイアンディナーと内容盛り沢山でお楽しみいただきました。

またスペシャルゲストとして、フラダンスのショーを鑑賞いただき、本場さながらのフラダンスを披露いただきました。

記者：原 慶彦



HCC キッズクラブ
夏祭り2022

8月に予定していた親子行事が、残念ながらコロナ禍により中止となりました。親子で参加していただくことはできませんでしたが、保育者と子どもたちで「夏祭り」を愉しみました。

サシエとは、フランス語で香料の入った小さな袋の事で、部屋やタンスなどに置くことでほのかな香りや癒しをくれる「フレグランスインテリア」になります。

今回は石鹸を使用したものでしたが、サシエはハーブやアロマ、キャンドルを用いたものなど種類が豊富です。色々な香りやエッセンスのサシエを作っていました。

記者：高崎 孝宜



HCC キッズクラブ
夏祭り2022

お約束ごとを聞いて、思い思いに好きなお店を回ります。一番人気は「ワニ」パニツク。ピコピコハンマーを片手に箱から出てくるワニさんという勝負！ワニを覗かせる「キー」と大喜びし「エイエイイ」とハンマーを振り回して格闘(笑)。

お約束ごとを聞いて、思い思いに好きなお店を回ります。一番人気は「ワニ」パニツク。ピコピコハンマーを片手に箱から出てくるワニさんという勝負！ワニを覗かせる「キー」と大喜びし「エイエイイ」とハンマーを振り回して格闘(笑)。

お約束ごとを聞いて、思い思いに好きなお店を回ります。一番人気は「ワニ」パニツク。ピコピコハンマーを片手に箱から出てくるワニさんという勝負！ワニを覗かせる「キー」と大喜びし「エイエイイ」とハンマーを振り回して格闘(笑)。

記者：原田 真理子



新千里東町夏まつり

新型コロナウイルス第7波の影響により、各地域の夏まつりは中止せざるを得ない状態が続いておりましたが、8月20日(土)に新千里東町夏まつりに参加、協力することができました。

新千里東町はマンションごと自治会が構成され地域住民がばらばらになっている千里ニュータウンの象徴的な町でしたが、地域自治協議会が中心となり行政の力だけに頼らず近隣商店などを巻き込み何とか繋がるようにしている町です。

そんな中で、豊泉家コミュニティクラブとして、資材の貸出しをはじめ、これまでホームド培ったノウハウを提供することで夏まつりの一員として参加させていただきました。

記者：竹林 晃



これからの娯楽サービスについて

TOPICS 1

人と人との温もりを大切に想いながらデジタル技術を活用したオンライン面談サービスの品質向上や、新サービスを検討中です。バーチャル技術を活用した、オンライン旅行サービスを検討しています。



TOPICS 2

これまでのアクティビティやイベントに加え、少人数制でお楽しみいただくサークル活動や外出イベントを充実させていく予定です。

- 音楽・合唱サークルの定期開催
- 豊泉家合唱祭の開催(3年ぶりの開催を目指して! いつかは大きなホールで...)
- 外食やお買い物ツアー、チャレンジド会員の皆様と自然を愉しむユニバーサルツーリズムツアーの実施



今月のひとこと

これまで積み重ねてきた経験と、新たな技術を活用することで、離れていても大切な方々と繋がっていただけるような取り組みができればと考えております! 皆様の取り組まれている様子を見ていただける様な、発表の場も多く設定できればと企画検討中です。安心してマスク無しで皆様と笑顔でお会いできる日を愉しみに、企画を手掛けてまいります。



NPO法人SG博友会 運営本部長 田中 晃

2022年8月度
フェロー大賞 月間賞

豊泉家チーム大賞

医療法人成和会
大阪コロナ高齢者医療介護
臨時センター「ほうせんか」

2022年7月1日より開設した当センターは、前例のない計画であり行政関係を含めからルール作りを行い運用を開始いたしました。開始直後に新型コロナウイルス感染症第7波が到来したためセンターだけでなく大阪府や保健所を含め混乱期の中での運用となりましたがスピード感をもって課題抽出と改善を繰り返して8月には1日4〜5名をコンスタントに受け入れる事が可能となりました。これらを可能にした行政機関との連携に積極的な姿勢、コロナセンターの各専門職がチームとなり取り組まざりながら評価されました。



医療法人成和会
大阪コロナ高齢者医療介護
臨時センター「ほうせんか」

豊泉家フェロー大賞
SALUTE JAPAN

7月より新型コロナウイルス感染症第7波が急拡大し、自宅待機を余儀なくされるフェローが多くなる中で、通常業務と並行して、約300件約700名分の物資の梱包・発送作業の他、感染者情報の取りまとめ、病状の確認・発送物の在庫管理等に加え、アンケートを実施し、より求められる物資をお届けするなど、フェローに寄り添った支援を行いました。これまでに自宅療養支援キットを受け取ったフェローの皆様からは感謝の声も多数いただき、人財創造部として「フェロー第一主義」を実践していることが評価されました。



一般財団法人SF豊泉家
人財創造本部 人財創造部
西田 奈奈子 フェロー

第74回豊泉家クォーターカンファレンス

豊泉家クォーターカンファレンスは年に4回、経営幹部、グループ企業の取締役、本部長、現場のリーダーを対象とし、様々な分野の講師の方にお越しいただき、講話を通して、心のあり方(モラル)、講師の方の経験や大切にされていることについて学び、得たものを持ち帰ることで各チームの発展、チームフェローの成長へ繋げることを目的に開催しています。

8月19日(金)に開催された第74回豊泉家クォーターカンファレンスでは、3名の外部講師に加え、豊泉家グループから医療法人成和会樋口昌克副理事長にご講話いただきました。まず最初に、公益財団法人モロゾジ「道徳教育財団」生涯学習講師大阪府北部モロゾジ協議会会長 福田靖久講師より「率先善を認め勇を鼓してこれを貫く」をテーマにご講話いただきました。

次に、やり投げの日本代表として過去3度オリンピックに出場されたテック株式会社 広報部長 村上幸史様より「競技人生を振り返って今思う事」をテーマにご講話いただきました。ご講話の中で、やり投げ競技を始めたきっかけから、オリンピックでの経験、そして今後の自身のビジョンについて、ユーモアを交えながらお話しいただきました。流が集う世界で様々な困難を経験された講



村上幸史様

師が語る「苦しい時こそ前進むことが大切」という言葉には大変重みがあり、参加者の心に強く残る内容をお話しいただきました。その後、大阪大学 関谷毅教授より「手軽な脳波計を活用した医療ヘルスケア」をテーマにご講話いただきました。関谷教授が研究開発されている伸縮性を持ったパッチ式脳波計が普及することにより、自宅で簡単に認知症や精神疾患等の検査を行うことが可能になるとお話しいただきました。また、本研究は豊泉家と協力し、有効なデータを多く収集することで、よりパッチ式脳波計の精度を高め、より早く普及できるように目指すことができるともお話しいただき、互いに協力すること、より明るい医療介護の未来を創っていくことを知る機会となりました。

パッチ式脳波計



関谷毅教授

最後に、樋口副理事長より「ほうせんか COVID-19 コンプレックス」をテーマにご講話いただきました。これまで豊泉家が行なってきた新型コロナウィルスへの取り組みについてまとめられた内容をお話しいただきました。本研修の次回開催は11月18日(金)を予定しております。記者…人財創造部 島 翔平

評価者研修

8月30日(火)、京町堀コミュニティ5階会議室をメイン会場として、人事評価制度に関する評価者研修を開催しました。なお、今回は感染防止のため、各コミュニティにはWebにてご参加いただきました。当研修はキャブテン・部長職以上の管理者(約80名)を対象に、「評価システムの理解を深めて、より納得性の高い評価をする方法を学ぶ」という目的で開催しております。進行は人財創造本部 宮食崇子本部長、評価システムについての説明は豊泉家グループの顧問 社会保険労務士 であり、樋口副理事長を立案サポートいただいた岡西淳也先生にお話しいただきました。約1時間いただいた講話、また質疑応答を通して、参加者の皆様には評価の際に必要な考え方や知識、具体的な評価の方法について理解を深めていただきました。

研修の中で岡西先生からは「人が人を評価することは非常に難しく、一般的に評価制度が定着するのは3年程度最初は戸惑いもあるかと思いますが、本日お話しする原則を理解し、実践する中で徐々に精度を高め、自分のお話していただきたいです」とお話しいただきました。当研修は今後も定例で年2回の開催を予定しており、評価システムの浸透、並びに研修シナジーに努めてまいります。記者…人事部 西村 晃



社外研修支援

豊泉家では「サービスの質」「フェローの質」という考えを基に、人財育成には特に力を入れており、豊泉家の研修では社会人としてのビジネスマナーや豊泉家フェローとしての考え方、各専門分野の基礎知識についても学ぶことが出来ます。加えて、より専門的な知識を習得したい場合には社外研修へ参加いただける支援も行っております。今回はその内容についてご紹介させていただきます。

まず1つ目は、社会人としてのスキルアップ研修です。豊泉家では外部の組織開発・人材育成支援サービス会社と契約して、年間300テーマの研修が受講可能です。内容は「仕事の進め方」「クリティカルシンキング」等、実務的な内容だけでなく、思考力やマインドも学ぶことが出来ます。例えば、フェローから人気が高い研修の中に「図解を用いた思考整理トレーニング」という研修がございます。この研修は、情報を図に描いて整理する思考整理手法について学ぶことで、日々の複雑な状況や大量の情報を素早く把握し、適切な対応を行うことを目的に開催されています。



このように日々の仕事の中だけでは習得することが難しい考え方やスキルを学習することで、更なるサービスの質の向上につながる事が出来ます。そして、2つ目が社会人としての基礎知識だけでなく、より専門的な内容を学ぶための制度「社外研修支援制度」です。豊泉家の業務内容は多岐にわたっており、フェローによって学びたい内容は様々です。そこで、自身の職種に関係する専門知識・資格取得に関するスキルアップの支援を行っております。この制度を活用することで、外部でしか得ることが出来ない新たな症例や治療法の情報把握時代に合わせたサービス創造するための知識を学ぶことが可能となります。今回ご紹介させていただきました研修の他にも、フェローのスキルアップに対しては様々な支援を行っております。今後も皆様に満足いただけるようなサービスを提供するために、引き続き人財育成に取り組みまいります。記者…人財創造部 川合 沙代子



豊泉家では特別な想いをもって使用している言葉【豊泉家ワード】があります。「どういう意味?」と思われる方もいらっしゃるかと思います。そこで、ゆたかくんによる解説コーナーを新設いたしました!

おしえてゆたかくん!!



- フェロー ⇒ 豊泉家で働く、同じ志を持つ大切な仲間を「フェロー」と呼びます。
- 個客 ⇒ 豊泉家のサービスをご利用の皆様。豊泉家では、お客様のことを「個客」と呼称しています。
- チャレンジド ⇒ 神様より挑戦する運命を与えられた人達という意味です。豊泉家ではハンディキャップをお持ちの方を「チャレンジド」と呼称しています。



豊食株式会社本社移転について

豊食株式会社はこれまで本店所在地を京町堀コミュニティ、運営事務所を桃山台コミュニティとしておりましたが9月1日本店所在地及び運営事務所を移転することとなりましたのでご案内申し上げます。

これから豊食では豊泉家の食事に関する一切の情報を集約する本社機能の確立を進めてまいります。

オフィスデザインは、従来の固定の個人デスクの設置を廃止し、フリーアドレススタイルを採用いたしました。Web会議スペース、打ち合わせスペース、個室など様々なデスクを配置、またデスクの高さも複数用意するなど、業務内容にあった場所を個人が選択できるようなりました。さらには自席の廃止により会議資料などのペーパーレス化、Web化を推進することで、環境問題、配慮することにも、業務の効率化を見直すきっかけとなりました。

オフィスデザインをフリーアドレススタイルに変えることで、その日その時の気分や状況でそれぞれのワークスタイルを選択し、また360度見渡せる環境で今までは違う新たなコミュニケーションの頻度を高めることで、より新しく、より効率的でクリエイティブな仕事ができる環境が整ったと感じております。

2022年度よりチーム経営の本格稼働をスタートし、過去に培ってきた実績と未来創造をベースに、常に変化し続ける豊食を目指し、二日二日をご利用者ご入居者、そしてフエローの幸せの為に、美味しいお食事をより一層進化させ、正しい利益を出す組織創りを進めてまいります。

またDX推進としては、食事に関わる全ての情報を「正確に」「リアルタイムに」「スピーディーに」集約し、より活性化された現場運営の為にDX化を図ってまいります。

豊食株式会社がお作のお食事がご入居者ご利用者、患者様フエローご家族、家縁の皆様へ届く喜びであり続けられるよう精進いたします。

今後ともどうぞ豊食株式会社を宜しくお願ひ申し上げます。



▼新本社
住所：〒56010836
大阪府豊中市庄内宝町1-1-5
TEL：06-63987034
FAX：06-63987035

記事：豊食株式会社
取締役社長 高山 勉

NPO法人SG博友会所在地変更について

平素は、豊泉家グループ並びにNPO法人SG博友会豊泉家コミュニティクラブの運営にご理解ご協力を賜り深く感謝を申し上げます。

これまでケアハウス豊泉家桃山台を法人所在地として、豊泉家グループの個客や地域住民の皆様へ向け「アクティブイイお食事」を多くの方々へサービス提供を行なっております。

2001年3月の法人設立より昨年で設立20周年を迎え、より自立した経営、運営を目指すと同時に、改めて我々の使命である「家縁(豊泉家)が繋がる縁づくり」に向けて邁進すべく、2022年10月より豊泉家グループの所有する同じ豊中市上新田内にある物件のリノベーションに合わせ、法人所在地を移転、変更させていただきますこととなりました。

また、こちらの物件は豊泉家フエローではなく、個客やボランティアをはじめとした地域の皆様にとり新たな集いの場となるよう願いを込め名称を「豊泉家コミュニティハウス」とさせていただきますこととなりました。

ここでは同法人の主力事業である娯楽サービスのヘッドオフィスとしての機能だけではなく、豊泉家フエローや地域のお子さまをお預かりする企業主導型保育園ほうせんかキッズクラブ桃山台の運営として家縁づくりを推進していくため、同グループや地域の行事への運営協力を行う新たな事業の立ち上げを予定しております。

これからはこの豊泉家コミュニティハウスを拠点に、より多くの方々笑顔を生み出すべく、北摂、阪神間における更なる家縁の拡大を目指してまいります。

今後とも豊泉家グループの掲げる、「生命を守り、生活を愉しみ、人生を豊かにする」というミッションのもと、家縁健康社会づくりへ向けフエロー一同より一層精進してまいりますので、今後ともご支援ご協力のほどお願ひ申し上げます。



▼新本店所在地
住所：〒56010885
大阪府豊中市上新田1-6-27
TEL：06687313844
FAX：06687313611

記事：NPO法人SG博友会
理事長 石倉 慎也

ほうせんかキッズクラブ 桃山台のホームページ
NPO法人SG博友会のホームページ

芦屋セントマリア病院でのパン販売開始のお知らせ

2022年8月1日よりCRC豊泉家芦屋山手が開設するあたりご縁をいただきました、芦屋セントマリア病院にてパン「Paino」の販売を開始いたしました。事前に注文いただいた商品を毎週月曜日と金曜日の朝に納品し、芦屋セントマリア病院の喫茶コーナーにて、患者様や職員の方々へ向けて販売していただいております。

商品を購入していただくという方からも好評で、担当の方からは「患者様だけでなく、職員の間でもとても人気で、いつも即日完売しています」と嬉しいお言葉をいただきました。現在は、当初と比較して納品数も徐々に増えています。

今後ともたくさんの方々へ喜ばれる商品創りを目指し、外部の施設や病院といった豊泉家グループのご利用者へ入居者フエロー以外の方々へもパン「de Rainbow」の美味しいパンをお届け出来るように日々取り組んでまいります。

記者：チャレンジセンター豊中 キヤブテン 佐野 良兼



新コーナー 10月

豊泉家グループからのお知らせ

豊泉家グループの未来、これからの取り組みについてお伝えしていきます!

TOPICS 1

10月号より、HCCTIMESをリニューアル!
リニューアルポイントは3点です。

- 毎月1日発行とし、情報をお届けしてまいります。
- 豊泉家ワードの解説とより見やすいデザインに変更します。
- 未来形の企画を紹介していきます。

これからも皆様にお楽しみいただける様なHCCTIMESを作成してまいります。

TOPICS 2

ほうせんか病院は日本でも最大規模の48床の緩和ケア病棟を有しています。そして、スカイクラブ等、ほうせんかホスピスコンプレックス構想で複合的な取り組みを実施していきます。

そちらに先駆けて、ほうせんか病院のホームページを全面リニューアルします。

今月のひとこと

法人・企業が長きにわたってサービスを行なっていくためにはブランディングが必要不可欠です。ブランディングとは、相手に好きになってもらうための努力。豊泉家の縁で繋がる皆様(家縁)が、豊泉家のことをもっと好きになれるよう、企画・立案していきます。

10月のイベント

10/8(土) 豊泉家スポーツフェスタ
10/21(金) 桂春園団落語会

私が担当します!

広報戦略室 室長 石倉 慎也